



Postgres Enterprise Manager

リリース 9.2.2

EnterpriseDB Corporation

2023 年 08 月 02 日

目次

第 1 章	Postgres compatibility	3
第 2 章	Release notes	5
2.1	Version 9.2.2	5
2.2	Version 9.2.1	6
2.3	Version 9.2.0	6
2.4	Version 9.1.1	7
2.5	Version 9.1.0	7
2.6	Version 9.0.0	8
第 3 章	Platform compatibility	11
第 4 章	Hardware requirements for installing the PEM server on Linux	13

Postgres Enterprise Manager (PEM) へようこそ。PEM は、EDB Postgres Advanced Server または PostgreSQL データベースの管理および分析機能を提供するコンポーネントで構成されています。PEM は、オープンソースの pgAdmin 4 プロジェクトに基づいています。

PEM は、包括的なデータベース設計および管理システムです。PEM は、初心者と経験豊富な Postgres ユーザーの両方のニーズを満たすように設計されており、データベースオブジェクトの作成、メンテナンス、使用を簡素化する強力なグラフィカルインターフェイスを提供します。

第1章 Postgres compatibility

PEM 9.x 用の Postgres のサポートされているバージョン：

Monitored Instance			Backend Instance
EDB	Postgres	11, 12, 13, 14, 15	11, 12, 13, 14, 15
Advanced	Server		
(EPAS)			
PostgreSQL (PG)		11, 12, 13, 14, 15	11, 12, 13, 14, 15
EDB	Postgres	11, 12, 13, 14, 15	Note[^1]
Ex-	tended Server (PGE)		

[^1]：このサーバーディストリビューションで sslutils が利用可能な場合、PEM は PGE をバックエンドとしてサポートします。2023 年の第 2 四半期に利用可能になる予定です。

第2章 Release notes

Postgres Enterprise Manager (PEM) ドキュメントには、マイナーリリースとパッチを含む PEM 9 の最新バージョンが記載されています。このセクションのリリースノートには、各リリースの新機能に関する情報が記載されています。マイナーリリースまたはパッチリリースで 8.0.0 以降に導入された新機能については、コンテンツ内に、どのリリースで機能が導入されたかに関するインジケータもあります。

Version	Release Date	Upstream Merges	Accessibility Conformance
<i>Version 9.2.2</i>	14 Jul 2023	NA	Conformance Report
<i>Version 9.2.1</i>	03 Jul 2023	NA	Conformance Report
<i>Version 9.2.0</i>	24 May 2023	NA	Conformance Report
<i>Version 9.1.1</i>	31 Mar 2023	NA	Conformance Report
<i>Version 9.1.0</i>	14 Feb 2023	NA	Conformance Report
<i>Version 9.0.0</i>	9 Dec 2022	NA	Conformance Report

多くの場合、選択された課題のみが上流のマージに含まれます。マージに含まれる特定の問題は、リリースノートのトピックにリストされています。

2.1 Version 9.2.2

PEM 9.2.2 の新機能、機能強化、バグ修正、およびその他の変更には次のものが含まれます。

Type	Description
Security fix	これは CVE-2023-2650 のセキュリティ修正であり、すべての Windows ユーザーにお勧めします。このセキュリティ修正には、PEM の Windows インストーラーにバンドルされている Apache HTTPD の更新が含まれています。このパッチは PEM サーバーのみに影響し、PEM エージェントを更新する必要はありません。

2.2 Version 9.2.1

PEM 9.2.1 の新機能、機能強化、バグ修正、およびその他の変更には、次のものが含まれます。

Type	Description
Security fix	Flask 2.x のサポートが追加されました。これは CVE-2023-30861 のセキュリティ修正であり、すべてのユーザーに推奨されます。このパッチは PEM サーバーのみに影響し、PEM エージェントを更新する必要はありません。

2.3 Version 9.2.0

PEM 9.2.0 の新機能、機能強化、バグ修正、およびその他の変更には次のものが含まれます。

Type	Description
Enhancement	パフォーマンス診断のデフォルトのサンプル終了時間が、ウィンドウが最初に開かれた時間ではなく、 Now になりました。 Run を選択すると、データが更新されるようになりました。
Bug fix	ストリーミング分析ダッシュボードのレプリケーションタイムラググラフのステータスの問題を修正しました。この修正により、サーバーがダウン/オフラインの場合、ステータスが stopped と表示されます。【サポートチケット：# 91220】
Bug fix	`efm_cluster_node_status` の下の Failover Manager ダッシュボードからエージェントのステータスを削除しました。【サポートチケット：# 1228607】
Bug fix	PEM Web クライアントからサーバーを更新/作成する際の `unknown error` の問題を修正しました。
Bug fix	PUT サーバー REST API で無効なパラメーターに対して有効なメッセージを返す問題を修正し、不要なパラメーターを削除しました。
Bug fix	暗号化パッケージをセキュリティで保護されたバージョンに更新しました。
Bug fix	webpack (NPM) パッケージをセキュリティで保護されたバージョンに更新しました。
Bug fix	アラートテンプレート変更時のパラメーター数の増減によるエラーを修正。
Bug fix	起動時に BARMAN シングルトンオブジェクトを初期化中に発生した `Static object initialization fiasco` の問題を修正しました。
Bug fix	`Login Group/Roles 500 error: UNION types char and text cannot be matched` エラーを修正しました。このエラーは、バックエンドサーバーとして PostgreSQL または EDB Postgres Advanced Server 15 を使用して、ロールの依存タブを開こうとしたときに表示されていました。

[次のページに続く](#)

表 4 – 前のページからの続き

Type	Description
Bug fix	トークンが無効な場合、デフォルトの Python エラーの代わりに役立つメッセージを提供しました。【サポートチケット：# 89276】
Bug fix	プローブ作成中の拡張子名の警告を修正しました。この警告は、有効な拡張機能名を指定した後でも表示されていました。
Bug fix	コマンドラインインターフェイスを使用して PEM に Barman サーバーを登録しようとするときの `--config-file` スイッチのエラーを修正しました。
Bug fix	ヘルプドキュメントと API リンクに欠落しているファビコンアイコンを修正しました。
Bug fix	Capacity Manager の Manage Template セクションでフォルダーを削除する際の警告メッセージを修正しました。
Bug fix	選択されたサーバーの数が GoTo リストに表示されているサーバーと一致しないというチューニングウィザードレポートを修正しました。
Bug fix	アラートテンプレートのパラメーターのアラート作成にクライアント側の検証を追加しました。
Bug fix	‘Log Analysis Expert’ の日付/時刻の空のエントリの検証を追加しました。
Bug fix	期間が 過去の日数としきい値 から 開始時刻と終了時刻 に変更された後、グラフが更新されない問題を修正しました。
Bug fix	Audit Manager に空のログローテーションエントリの検証を追加しました。
Bug fix	グラフの作成中に欠落していた拡張機能レベルのメトリックを追加しました。
Bug fix	システムアラートのパラメーター検証を削除しました。
Bug fix	エージェント登録中に PEM がユーザ指定の証明書とキーを上書きする問題を修正しました。【サポートチケット：# 90841】

2.4 Version 9.1.1

PEM 9.1.0 の新機能、機能強化、バグ修正、およびその他の変更には次のものが含まれます。

Type	Description
Bug fix	Ubuntu 22.04 で PEM エージェントを登録するとエラーが発生する問題を修正

2.5 Version 9.1.0

PEM 9.1.0 の新機能、機能強化、バグ修正、およびその他の変更には次のものが含まれます。

Type	Description
Enhancement	EDB Advanced Server 15 および EDB Postgres Distributed 5 のサポートが追加されました。

次のページに続く

表 6 – 前のページからの続き

Type	Description
Enhancement	プローブとアラートを個別に選択せずにグループ内のすべてのサーバーにコピーする機能が追加されました。
Bug Fix	ユーザーが送信オプションを無効にすると、低または中アラートのアラート通知が送信される問題を修正しました。[サポートチケット # 87664]
Bug Fix	スプール内に非アクティブなエンドポイントがある場合、Webhook が呼び出されない問題を修正しました。[サポートチケット # 87365]
Other	PGD ワーカーエラープローブ、関連するアラートテンプレート、およびダッシュボードグラフは、誤ったデータが生成されたため、削除されました。これらは、将来のリリースで新しいプローブに置き換えられます。

2.6 Version 9.0.0

PEM 9.0.0 の新機能、機能強化、バグ修正、およびその他の変更には次のものが含まれます。

Type	Description	ID
Enhancement	ユーザーインターフェイスのレイアウトが改善され、新しいブランドで更新されました。	PEM-4472
Enhancement	ユーザーがエージェント登録時にコマンドラインからエージェント ID と既存の SSL 証明書とキーファイルを指定できるようにして、ユーザーエクスペリエンスと信頼できる証明書の使用を改善します。[サポートチケット # 1022060]	PEM-3546
Enhancement	サーバーグループを作成する REST API を追加しました。[サポートチケット # 78430]	PEM-4403
Enhancement	REST API の OpenAPI ドキュメントを再検証、修正、および明確化しました。[サポートチケット # 84746]	PEM-4453
Enhancement	スーパーユーザーアカウントなしで Performance Diagnostics の使用を許可します。[サポートチケット # 82569]	PEM-4515
Enhancement	Postgres Enterprise Manager のバックエンドデータベースサーバーとしての PostgreSQL 15 のサポートが追加されました。	PEM-4558
Enhancement	PostgreSQL 15 の SQLProfiler プラグインを生成しました。	PEM-4599
Bug Fix	特定のトポロジで `number of lagging replicas` メトリックが誤った結果を返す問題を修正しました。	PEM-4631

次のページに続く

表 7 – 前のページからの続き

Type	Description	ID
Bug Fix	Dashboard > Server Activity で 50 セッションしか表示できない問題を修正しました。[サポートチケット # 82563]	PEM-4492
Bug Fix	logging_collector が ON のときにサーバーを再起動する代わりにサーバーのリロードジョブを作成していた Log Manager の問題を修正しました。	PEM-4593

第3章 Platform compatibility

PEM でサポートされているプラットフォームとバージョンの詳細については、
[Platform compatibility](#) を参照してください。

注釈: Postgres Enterprise Manager 8.3 以降は SLES でサポートされています。

第4章 Hardware requirements for installing the PEM server on Linux

サーバーを監視し、ダッシュボードをレンダリングする際の最適なパフォーマンスを得るには、少なくとも次のシステムに PEM をインストールすることをお勧めします。

- 4つの CPU コア
- 8GB の RAM
- 100 GB のストレージ

データストレージには追加のディスク領域が必要です。リソースの使用は、定義および有効化されているプローブと、監視対象データベースのアクティビティレベルによって異なります。PEM を使用しながらサーバーリソースを監視すると、初期システム構成を拡張する必要がある時期を知ることができます。